

国労

蘇我運輸区分会ニュース

国民の総意を無視したブラック政治、

この国は何処へ向かうのか?!

7月に凶弾に倒れた安倍元総理大臣の国葬が行なわれました。野党は勿論、与党からも、そして数々のアンケート調査の結果も「賛成」を「反対」が上回る

という国民の総意も完全無視したやり方に憤りを禁じ得ません。しかも葬儀費の数十億が私たちの血税です。同じ日には台風被害で生きる気力さえ失いそうな静岡

の現状もあつただけに尚更です。この金があつたら、どれだけの人が助かることでしょうか。安倍の死は何のことはないイメージ的な政治利用に使われただけで

「悼む気持ち」など微塵も感じられませんでした。こんな連中、ブラック政治では、憲法改悪もきめて、あつという間に戦争への道が開かれてしまいうそです。有権者にも責任があります。これ以上の暴走は絶対許してはなりません!

お宝発見 ㊦

新宿車掌区事件勝利判決記念 テレフォンカード

千葉運輸区の東平賢一さんから提供されました。自分も総武中央緩行線を乗務していたので、よく覚えています。当時、新宿車掌区の田中さんが助役であるにも関わらず、会社側の組合脱退強要にも断固拒否を行なった結果、配置転換(乗務)を命じられたことに対する裁判闘争が行われていました。地労委、中労委の判決(いずれも組合側の勝利)を経て、最高裁での最終的な勝利を勝ち取りました。その時に当時の代表取締役、松田による国労本部及び新宿車掌区分会長、そして本人田中さんに宛てた直筆による謝罪文で作られたのが、この記念のテレフォンカードです。日常茶飯事に堂々と行なわれていた会社側の数え切れないほどの不当労働行為に対して、最高裁がそれを認めたことは画期的なことであり、勇気づけられました。

よく覚えているのは、田中さんや当時の鈴木分会長始め、新宿車掌区分会の誰もが穏やかで、やさしいイメージしかなく、この厳しい裁判闘争を闘いぬいたことに今でも驚いています。しかも最終判決が出る1994年までは、組合員がことごとく強制配転という攻撃にあいながらのことです。本当に強い人たちとはこういう人たちのことなんだろうと今でもしみじみ思います。何処かの誰かみたいに、勢いだけで無責任にパーパー怒鳴ってる連中



とはレベルが違いますね! 勿論、田中さんも最後の最後まで国労組合員で頑張りぬいたことは言うまでもありません。それにしても謝罪文をテレフォンカードにしてしまうという発想、凄すぎますね!!

久我さん、墓参り 9月24日(土)

コロナ禍で3年ぶりに計画された分会での墓参りでしたが、台風の影響で已む無く断念。天候の収まったタイミングで、外房に住む半場さんと齊藤さんが彼岸ということもあり、自主的に向かってくれました。ありがとうございました。久我さんも喜んでくれたことでしょう。次回は皆で行けると良いですね!! 9回忌でした。



どうする? 分会勤務表

新シンジャーによる個人タプレットへの配信により、今までのように簡単に分会組合員の勤務把握が困難になりました。分会としては、どうしても必要

なことに頭を悩ませています。既に10月分の作成は何とか終りそうですが、出来ればもっと早く、簡単に済ませたい・と思っております。ともかくにも皆さんの協力が大前提です。よろしくお願いします。